第59号：令和4年10月3日発行　高瀬湖だより　　発行元：国土交通省　中国地方整備局　山口河川国道事務所　島地川ダム管理支所

島地川ダム 高瀬湖だより

島地川ダム初の事前放流

令和４年９月19日に山口県を通過した台風第14号。

大型で猛烈な勢いとして九州に接近していました。

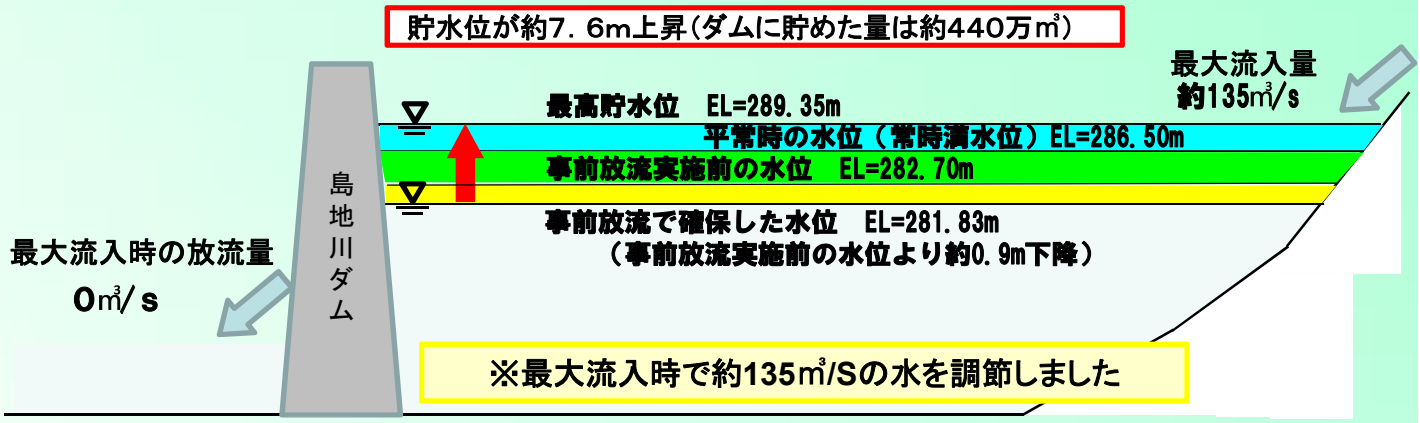
気象庁が発表する長期降雨予測において、島地川ダムでは貯留できる量を超える降雨が予想されたため、９月17日５時26分よりダムの貯水位を下げるための事前放流を実施しました。

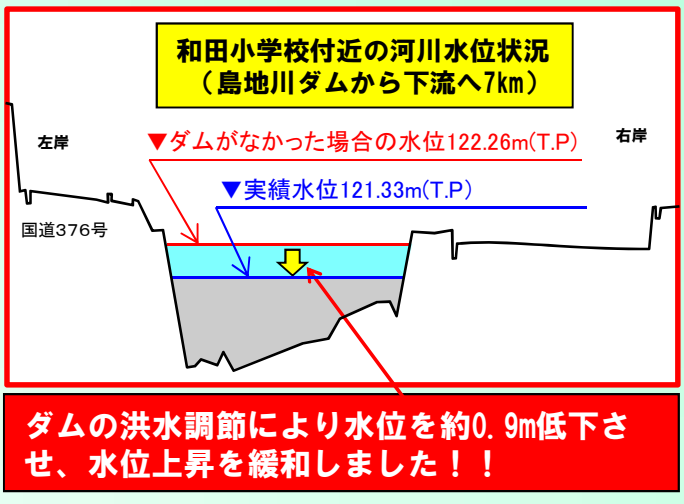
今夏の渇水により、平常時の水位（常時満水位）から約３．８ｍ貯水位が低い状況でしたが、事前放流により貯水位をさらに約０．９ｍ下降させ、台風にそなえました。

18日13時20分から降り始めた雨は、台風が過ぎた20日２時迄で島地川ダム流域で３００ミリとなりました。

このため、島地川ダムへの流入量は最大で約１３５㎥／ｓとなり島地川ダムの管理を開始して４番目の洪水となり、近年では平成21年７月21日の洪水を上回りましたが、最大流入時の放流量が０㎥／ｓと全量をダムに貯留する事ができました。

この結果、周南市和田にある和田小学校付近では、島地川の水位を約０．９ｍ低下させることが出来た（速報値）と推定され、洪水被害発生の軽減を図ることが出来ました。





～森と湖に親しむ集い開催～

島地川ダム周辺環境地区管理協議会（事務局周南市観光交流課）が主催する、「森と湖に親しむ集い in 新平ヶ原公園」が３年ぶりの令和４年９月23日（祝金）に開催されました。

当初は午前中に新平ヶ原公園キャンプ場にある河川敷を会場として「山口県環境パートナー」の吉森信雄さんの指導により、川の中に入って水生生物の調査を行って川のきれいさを観察してもらい、午後から島地川ダムの見学をしてもらう予定でしたが、台風第14号による洪水により水かさが増した状態となり、安全面を考慮して、ダム見学会のみ実施しました。

参加者は事前に申し込まれた周南市の小学校に通う小学生とその保護者10組で、普段入ることの出来ないオペレーションルームやダム設備や通廊（ギャラリー）の見学と、巡視船による湖面巡視の体験をしてもらいました。

見学者からは「ダムの中は涼しかった」、「船に乗れて楽しかった」、「迷路みたい」、「放流がすごかった」、「階段が地獄で明日筋肉痛になりそう」、「いろいろな機器があって管理が大変そう」などの声があり、日常とはちょっと違った体験をしてもらうことで、充実した一日を過ごしていただきました。

翌日必ず筋肉痛になる地獄の階段

ダムの斜面を走って下れるのはルパンだけ・・

船に乗って巡視体験

貯水池は広い

オペレーションルーム

◆◆編集後記◆◆

今年の出水期には雨が少なく、近年希に見る夏場の大渇水となり、ダム貯水位も大幅に減少し平成６年の大渇水に匹敵するような水位まで低下しました。その後の降雨により、貯水位も９割近くまで回復していました。

今回の台風第14号では、その空き容量と事前放流を行うことで、さらに容量を増やした事により、ダムから下流への越流開始を遅らせることが出来たため、島地川沿川の被害軽減に努めることが出来たと思われます。引き続きダムの適切な管理を行ってまいります。（ｋ・ｓ）

高瀬湖だよりに関する問い合わせ先

発行者／国土交通省 中国地方整備局
山口河川国道事務所　島地川ダム管理支所
住所／〒746-0101
山口県周南市大字高瀬257
TEL(0834)67-2878　FAX(0834)67-2427
○ホームページ（山口河川国道事務所）
http://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi/
○Twitterやってます。
佐波川Twitter　@mlit_sabagawa
山口河川国道Twitter　@mlit_yamaguchi

佐波川Twitter

島地川ダム